



Docket No.: SHO-0048  
(PATENT)

**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

In re Patent Application of:  
Nobuyuki NONAKA

Application No.: 10/697,245

Confirmation No.: 9924

Filed: October 31, 2003

Art Unit: N/A

For: GAMING MACHINE

Examiner: Not Yet Assigned

**CLAIM FOR PRIORITY AND SUBMISSION OF DOCUMENTS**

MS Missing Parts  
Commissioner for Patents  
P.O. Box 1450  
Alexandria, VA 22313-1450

Dear Sir:

Applicant hereby claims priority under 35 U.S.C. 119 based on the following prior foreign applications filed in the following foreign countries on the dates indicated:

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Date</u>
Japan	JP2003-092529	March 28, 2003

In support of this claim, a certified copy of each said original foreign application is filed herewith.

Dated: June 23, 2004

Respectfully submitted,

By 

Brian K. Dutton

Registration No.: 47,255  
RADER, FISHMAN & GRAUER PLLC  
1233 20th Street, N.W., Suite 501  
Washington, DC 20036  
(202) 955-3750  
Attorneys for Applicant

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2003年 3月28日  
Date of Application:

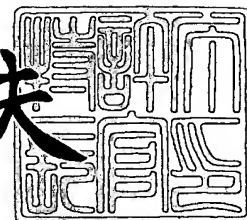
出願番号 特願2003-092529  
Application Number:  
[ST. 10/C]: [J P 2003-092529]

出願人 アルゼ株式会社  
Applicant(s):

2004年 3月24日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2004-3024144

【書類名】 特許願

【整理番号】 P02-1289

【提出日】 平成15年 3月28日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G02F 1/136  
A63F 5/04

【発明の名称】 画像表示装置及び遊技機

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 東京都江東区有明 3 丁目 1 番地 2 5

【氏名】 野中 誠之

【特許出願人】

【識別番号】 598098526

【氏名又は名称】 アルゼ株式会社

【代理人】

【識別番号】 100083806

【弁理士】

【氏名又は名称】 三好 秀和

【電話番号】 03-3504-3075

【選任した代理人】

【識別番号】 100068342

【弁理士】

【氏名又は名称】 三好 保男

【選任した代理人】

【識別番号】 100100712

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩▲崎▼ 幸邦

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100087365

【弁理士】

【氏名又は名称】 栗原 彰

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100100929

【弁理士】

【氏名又は名称】 川又 澄雄

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100095500

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊藤 正和

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100101247

【弁理士】

【氏名又は名称】 高橋 俊一

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100098327

【弁理士】

【氏名又は名称】 高松 俊雄

## 【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001982

【納付金額】 21,000円

## 【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0212527

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像表示装置及び遊技機

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 遊技機に備えられる画像表示装置であって、

所定の色をそれぞれ表示する複数種の画素電極を各種一つずつ配列して形成される画素ユニットと、

前記画素電極に供給される情報信号を制御する駆動制御手段と、

前記駆動制御手段からの一画素当たりの出力と、一対の前記画素ユニットそれぞれに含まれる同一色の画素電極とを一对多の関係で接続する情報信号線とを備え、

隣接する一対の前記画素ユニットにより一画素を構成することを特徴とする画像表示装置。

【請求項 2】 前記画素電極は、 $x$   $y$  平面上にマトリクス状に配置されるとともに、 $y$  方向には同一色が配置され、 $x$  方向には同一パターンを繰り返して配置され、ストライプ状をなしていることを特徴とする請求項 1 に記載の画像表示装置。

【請求項 3】 スロットマシンやパチンコ機等の遊技機であって、

所定の色をそれぞれ表示する複数種の画素電極がマトリクス状に配置されて構成される表示部を備え、

前記表示部は、

所定の色をそれぞれ表示する複数種の画素電極を各種一つずつ配列して形成される画素ユニットと、

前記画素電極に供給される情報信号を制御する駆動制御手段と、

前記駆動制御手段からの一画素当たりの出力と、一対の前記画素ユニットそれぞれに含まれる同一色の画素電極とを一对多の関係で接続する情報信号線とを備え、

隣接する一対の前記画素ユニットにより一画素を構成することを特徴とする遊技機。

【請求項 4】 前記画素電極は、 $x$   $y$  平面上にマトリクス状に配置されると

ともに、y 方向には同一色が配置され、x 方向には同一パターンを繰り返して配置され、ストライプ状をなしていることを特徴とする請求項 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】 前記表示部は、遊技面に設けられた高透過性の液晶ディスプレイであることを特徴とする請求項 3 又は 4 に記載の遊技機。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、スロットマシンやパチンコ機等の遊技機に備えられる表示装置に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

近年、スロットマシンやパチンコ等の遊技機市場では、ゲーム性を構成する重要な要素の 1 つとして映像が挙げられている。従来、遊技機の映像においては、7 インチ以下の液晶モニターやドット表示装置を搭載することが主流となっている。このような表示装置を備えた遊技機によれば、遊技機におけるゲームの進行に応じた映像を表示することによって、ゲームの進行状態を明確に表示したり、遊技者の期待感を喚起させたり、入賞状態を効果的に演出したりすることが可能となる（例えば、特許文献 1 参照）。

【0 0 0 3】

上記表示装置、及び表示装置を備えた遊技機において、その表示画面は面積が大きいほど高い演出効果を期待することができる一方、表示装置に表示される画像は、画素が精細であるほど美しいうえ、表示可能な情報量が大きいといえる。

【0 0 0 4】

ところが、液晶モニターでは、液晶モニターの面積を大きくするに伴って、画素も大きくなるが、画素が大きくなるほど、表示される画像が粗くなり、画像の解像度が低下するという問題があることから、画素の精細化が望まれる。

【0 0 0 5】

【特許文献 1】

特開 2 0 0 1 - 3 4 0 5 1 8 号公報

**【0006】****【発明が解決しようとする課題】**

しかしながら、上述したように、液晶モニターの面積を大きくするとともに画素を詳細化した場合、表示される画像データが増大するという問題があり、この結果、処理速度の遅延や、メモリ等の記憶装置の容量の増大、及び画像データの製作コストの増加を招くこととなる。

**【0007】**

そこで、本発明は、以上の問題点に鑑みてなされたもので、スロットマシンやパチンコ機等の遊技機に備えられる表示装置において、画像データを増大させることなく、表示装置の画素を精細化し、画質の向上を図ることのできる画像表示装置及び遊技機を提供するものである。

**【0008】****【課題を解決するための手段】**

上記課題を解決するために、本発明は、スロットマシンやパチンコ機等の遊技機に備えられる表示装置であって、所定の色をそれぞれ表示する複数種の画素電極を各種一つずつ配列して形成される画素ユニットと、画素電極に供給される情報信号を制御する駆動制御手段と、駆動制御手段からの一画素当たりの出力と、一对の画素ユニットそれぞれに含まれる同一色の画素電極とを一对多の関係で接続する情報信号線とを備え、隣接する一对の画素ユニットにより一画素を構成する。

**【0009】**

このような本発明によれば、遊技機に備えられる表示装置において、隣接する一对の画素ユニットにそれぞれ含まれる同一色の画素電極と駆動制御手段の出力とを一对多の関係で接続する情報信号線を介して、一画素当たりの情報信号を供給するため、一画素分の情報信号電圧を、一对の画素電極に同タイミング且つ同レベルで印加することが可能となり、駆動制御手段の出力端子を増大させることなく、上記画素の精細化を実現することができる。この結果、本発明によれば、既存の情報信号ドライバ等の駆動制御手段に大幅な改良を要することなく、且つ、既存の画像データのデータ量を増大させることなく、同一色の画素電極間の距

離（画素ユニットのピッチ）を従来のほぼ  $1/2$  とすることが可能となり、画素の精細化を図ることができる。

#### 【0010】

なお、スロットマシンやパチンコ機等の遊技機に備えられる表示装置においては、画素ユニットのピッチ  $P$  と、当該表示装置から通常遊技姿勢における遊技者までの距離  $d$  とが  $P < \tan(\pi/180/35) \times d$  の関係を満たすことにより、画素線を目立ち難くすることができる。本発明によれば、上記構成を採用することにより、上記関係を満たした画素ユニットのピッチ  $P$  を容易に実現することができる。

#### 【0011】

上記発明においては、画素電極は、 $x$   $y$  平面上にマトリクス状に配置されるとともに、 $y$  方向には同一色が配置され、 $x$  方向には同一パターンを繰り返して配置され、ストライプ状をなしていることが好ましい。この場合には、同一色が  $y$  方向に一行に配列されることとなるため、画素電極を他の配列形態と比較して、斜め線を表示した際の画像の滲みを低減することができ、画像の品質を向上させることが可能となる。

#### 【0012】

本発明は、スロットマシンやパチンコ機等の遊技機であって、所定の色をそれぞれ表示する複数種の画素電極がマトリクス状に配置されて構成される表示部を備え、表示部は、所定の色をそれぞれ表示する複数種の画素電極を各種一つずつ配列して形成される画素ユニットと、画素電極に供給される情報信号を制御する駆動制御手段と、駆動制御手段からの一画素当たりの出力と、一対の画素ユニットそれぞれに含まれる同一色の画素電極とを一对多の関係で接続する情報信号線とから構成され、隣接する一対の画素ユニットにより一画素を構成する。

#### 【0013】

このような本発明によれば、遊技機に備えられる表示装置において、隣接する一対の画素ユニットにそれぞれ含まれる同一色の画素電極と駆動制御手段の出力とを一对多の関係で接続する情報信号線を介して、一画素当たりの情報信号を供給するため、一画素分の情報信号電圧を、一対の画素電極に同タイミング且つ同レベルで印加することが可能となり、駆動制御手段の出力端子を増大させること



なく、上記画素の精細化を実現することができる。この結果、画素ユニットのピッチを従来の約  $1/2$  とすることができ、遊技機におけるゲームの進行に応じた映像を効果的に表示することが可能となる。

#### 【0014】

上記発明においては、画素電極は、 $x$   $y$  平面上にマトリクス状に配置されるとともに、 $y$  方向には同一色が配置され、 $x$  方向には同一パターンを繰り返して配置され、ストライプ状をなしていることが好ましい。この場合には、同一色が  $y$  方向に一行に配列されることとなるため、画素電極を他の配列形態と比較して、斜め線を表示した際の画像の滲みを低減することができ、画像の品質を向上させることが可能となる。

#### 【0015】

上記発明においては、表示部は、遊技面に設けられた高透過性の液晶ディスプレイであることが好ましい。この場合には、スロットマシンのリール部やパチンコ機の遊技板等の遊技面上に、上述した精細な画像を、オーバーラップさせて表示することが可能となり、より効果的に表現力の向上を図ることができる。

#### 【0016】

##### 【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施形態に係る表示装置及びスロットマシン遊技機について、図を用いて詳細に説明する。

#### 【0017】

##### 〔第1実施形態〕

##### （表示装置の構成）

図1は、第1実施形態に係る表示装置の表示画面を模式的に示す説明図である。なお、同図においては、 $2 \times 2$  の4画素のみを拡大して示す。

#### 【0018】

同図に示すように、表示画面は、R（赤）、G（緑）、B（青）の三色をそれぞれ表示する複数種の画素電極R、G、B（以下、適宜、 $R_a$ 、 $G_a$ 、 $B_a$ 、 $R_b$ 、 $G_b$ 、 $B_b$ とする。）が、 $x$   $y$  平面上にマトリクス状に配置されるとともに、 $y$  方向には同一色が配置され、 $x$  方向には同一パターン（R、G、B）が繰り返して

配置され、ストライプ状をなしている。

#### 【0019】

そして、この表示画面では、画素電極 R、G、B を各種一つずつ配列して画素ユニット a 及び b を形成し、隣接する一対の画素ユニットにより一画素を構成している。詳述すると、画素電極 Ra、Ga、Ba を隣接配置することにより画素ユニット a を形成し、画素電極 Rb、Gb、Bb を隣接配置することにより画素ユニット b を形成し、これら隣接する画素ユニット a 及び b により一つの画素データを表示する。

#### 【0020】

この表示画面の具体的な構成を図 2 に示す。同図に示すように、表示画面では、液晶パネル基板上において図面中水平方向（図 1 における x 方向に相当）に配線され、走査信号ドライバ 11 に接続されたゲート線 G1、G2、…と、図面中垂直方向（図 1 における y 方向に相当）に配線され、駆動制御手段である情報信号ドライバ 10 に接続された情報信号線（ソース線）DR、DG、DB…とが互いに絶縁された状態で直交するように設けられており、その各交点において、アクティブ素子（スイッチング素子）である薄膜トランジスタ（TFT）を介して、各画素電極に接続されている。

#### 【0021】

また、本実施形態では、駆動制御手段である情報信号ドライバ 10 からの一画素当たりの出力と、一対の画素ユニット a、b に含まれる各画素電極 Ra、Ga、Ba、Rb、Gb、Bb とが、一対多の関係で接続されている。すなわち、各情報信号線 DR、DG、DB…は、その途中で分岐され、情報信号ドライバ 10 からの一画素当たりの出力と、一対の画素ユニット a、b のそれぞれに含まれる同一色の画素電極とが一対 2 の関係で接続されている。すなわち、本実施形態においても、隣接する一対の画素ユニット a、b により一画素が構成されるとともに、情報信号線 DR が画素電極 Ra 及び Rb に、情報信号線 DG が画素電極 Ga 及び Gb に、情報信号線 DB が画素電極 Ba 及び Bb に接続されている。

#### 【0022】

そして、かかる構成において、走査信号ドライバ 11 によりゲート線 G1、G2

、…が順次に走査選択されてゲート電圧が供給され、このゲート線の走査選択に同期して情報信号ドライバ 1 0 から各画素データに応じた情報信号電圧が、情報信号線 DR、DG、DB…に供給され、T F T を介して各画素電極に印加される。このとき、情報信号ドライバ 1 0 からの一画素当たりの出力と、画素ユニット a、b のそれぞれに含まれる同一色の画素電極とが一对 2 の関係で接続されているため、一画素当たりの情報信号電圧が、画素ユニットそれぞれに含まれる同一色の画素電極 (Ra, Rb)、(Ga, Gb)、(Ba, Bb) に、同レベルで供給されることとなる。

#### 【0 0 2 3】

この情報信号電圧の印加タイミングを図 3 に示す。なお、同図においては、1 フレームを往復して走査する場合において、正フィールド及び負フィールドの、ゲート線及び各画素電極に対して印加される電圧レベルを示している。

#### 【0 0 2 4】

同図に示すように、ゲート線 G1、G2、…が、順次に走査選択され、電圧が印加され、このゲート線に対する印加のタイミングに同期させて、一对の画素電極 (Ra, Rb)、(Ga, Gb)、(Ba, Bb) に対し、情報信号線 DR、DG、…を介して、同レベルの情報信号電圧が印加されている。

#### 【0 0 2 5】

なお、本実施形態では、一对の画素ユニット a、b によって形成される画素をストライプ状に配置した場合を例に説明したが、本発明は、これに限定されるものではなく、図 4 に示すように、モザイク配列 (同図 (a))、デルタ配列 (同図 (b)) 或いは 2 G スクエア配列 (同図 (c)) にも適用することができる。これらの場合においても、一画素当たりの情報信号は、一对の画素ユニット a、b のそれぞれに含まれる同一色の画素電極に、同レベルで供給される。

#### 【0 0 2 6】

(遊技機の構成)

以上説明した表示装置を備えた遊技機について説明する。本実施形態では、遊技機としてスロットマシンに適用した場合を例に説明する。図 5 は、本実施形態に係るスロットマシン 1 を示す斜視図及び正面図である。

## 【0027】

図5に示すように、スロットマシン1は、本体正面に遊技面2が備えられており、この遊技面2において、図中、点線で示す領域には、上述した表示装置である透明液晶ディスプレイ3が設けられている。この透明液晶ディスプレイ3には、スロットマシン1の本体内に設けられたリールの外周面上に描かれている図柄を視認可能とするためにリール表示窓3aが形成されている。また、遊技面2には、透明液晶ディスプレイ3以外の領域にもランプ、セグメント表示器等の各種表示部が設けられている。また、スロットマシン1は、本体前面に、スピーカ4、ランプ5、操作スイッチ部6、メダル受け皿1aを備えている。透明液晶ディスプレイ3は、高透過性の液晶ディスプレイであり、液晶に電圧を印加する電極等が、透明な薄膜状の導電物質（例えば、インジウムと錫の共合酸化物など）で形成されている。

## 【0028】

図6は、スロットマシン1内部に備えられた制御部7の構成を示すブロック図である。同図に示すように、スロットマシン1は、当該スロットマシン1における遊技処理動作を制御する主制御回路71と、主制御回路71に電氣的に接続する周辺装置（アクチュエータ等）と、主制御回路71から送信される制御指令に基づいて透明液晶ディスプレイ3及びスピーカ4を制御する副制御回路72とを備えている。

## 【0029】

主制御回路71は、回路基板上に配置されたCPUを主たる構成要素とし、これに、入賞を決定する確率抽選処理を行う際の乱数サンプリングを実行する回路を加えて構成されている。CPUは、内部当選役決定手段及び入賞判定手段としての機能を果たし、予め設定されたプログラムに従って制御動作を行うとともに、記憶手段であるROM及びRAMを備えている。この記憶手段（ROM及びRAM）には、スタート操作をする毎に行われる乱数サンプリングの判定に用いられるデータや、副制御回路72へ送信するための各種制御指令（コマンド）が格納されている。

## 【0030】

上記主制御回路 7 1 からの制御信号により動作が制御される主要なアクチュエータとしては、図 5 に示した、ランプ 5 や、遊技面 2 の各種表示部、コインを収納し所定枚数のコインをメダル受け皿 1 a に払出すホッパー（払い出しのための駆動部を含む）、リールを回転駆動するステッピングモータ等がある。これらの各アクチュエータは、それぞれに設けられた駆動回路を介して、前記主制御回路 7 1 の出力部に接続され、それぞれ C P U から出力される駆動指令などの制御信号を受けて、動作が制御される。

#### 【 0 0 3 1 】

また、主制御回路 7 1 が制御指令を発生するために必要な入力信号を発生する主な入力信号発生手段としては、スロットマシン 1 の前面に設けられた操作スイッチ部 6 や、投入コインセンサ、リールの動作状態を検知する各種センサが設けられている。操作スイッチ部 6 は、ゲームのスタート、各リールの停止操作を検出し、投入コインセンサは、コイン投入口に投入されたコインを検出する。リールの各種センサは、リール位置を識別するための信号を主制御回路 7 1 へ供給する。

#### 【 0 0 3 2 】

そして、主制御回路 7 1 では、リールの回転位置とリール外周面上に描かれた図柄とを対応付けるために、図柄テーブルが、R O M 内に格納されている。この図柄テーブルでは、各リールの一定の回転ピッチ毎に順次付与されるコードナンバーと、それぞれのコードナンバー毎に対応して設けられた図柄の種類を示す図柄コードとが対応付けられている。さらに、R O M 内には、入賞図柄組合せテーブルが格納されている。この入賞図柄組合せテーブルでは、入賞となる図柄の組合せと、入賞のコイン配当枚数と、その入賞を表す入賞判定コードとが対応付けられている。上記の入賞図柄組合せテーブルは、全リールの停止時において入賞確認を行うときに参照される。

#### 【 0 0 3 3 】

副制御回路 7 2 は、主制御回路 7 1 からの制御指令（コマンド）に基づいて透明液晶ディスプレイ 3 の表示制御及びスピーカ 4 からの音の出力制御を行う。この副制御回路 7 2 は、主制御回路 7 1 を構成する回路基板とは別の回路基板上に

構成され、マイクロコンピュータ（以下「サブマイクロコンピュータ」という）73を主たる構成要素とし、透明液晶ディスプレイ3の表示制御手段としての画像制御回路81、スピーカ4により出音される音を制御する音源IC78、及び増幅器としてのパワーアンプ79で構成されている。

#### 【0034】

上記、サブマイクロコンピュータ73は、主制御回路71から送信された制御指令に従って制御動作を行うサブCPU74と、記憶手段としてのプログラムROM75と、ワークRAM76とを含む。副制御回路72は、サブCPU74の動作プログラム上で乱数サンプリングを実行するように構成されている。プログラムROM75は、サブCPU74で実行する制御プログラムを格納する。ワークRAM76は、上記制御プログラムをサブCPU74で実行するときの一時記憶手段として機能する。

#### 【0035】

画像制御回路81は、画像制御CPU82、画像制御ワークRAM83、画像制御プログラムROM84、画像ROM86、ビデオRAM87及び画像制御IC88で構成される。画像制御CPU82は、サブマイクロコンピュータ73で設定されたパラメータに基づき、画像制御プログラムROM84内に格納する画像制御プログラムに従って透明液晶ディスプレイ3での表示内容を決定する。画像制御プログラムROM84は、透明液晶ディスプレイ3での表示に関する画像制御プログラムや各種選択テーブルを格納する。

#### 【0036】

画像制御ワークRAM83は、上記画像制御プログラムを画像制御CPU82で実行するときの一時記憶手段として機能する。画像制御IC88は、画像制御CPU82で決定された表示内容に応じた画像を形成し、透明液晶ディスプレイ3に出力する。画像ROM86は、画像を形成するためのドットデータを格納する。ビデオRAM87は、画像制御IC88で画像を形成するときの一時記憶手段として機能する。

#### 【0037】

そして、このような構成を有するスロットマシン1では、遊技者の操作を操作

スイッチ部 6 で検知し、操作スイッチ部 6 からの操作信号に従って、制御部 7 により、各アクチュエータを駆動させ、ゲームをスタートする。次いで、遊技者の停止操作に応じて、各リールを順次停止させていく。そして、全リールが停止すると、主制御回路 7 1 において、ROM 内の入賞図柄組合せテーブルを参照し、リール表示窓 3 a に表示されている図柄の組合せのうち、入賞図柄組合せがあるか否かを判断して、入賞となる図柄組合せがあった場合は、ホッパーからその入賞に対応する配当枚数のメダルをメダル受け皿 1 a に払い出す。また、主制御回路 7 1 は、例えば、確率抽選処理の結果得られた内部当選役、遊技者の停止操作、入賞した役の種類などに応じた制御指令を副制御回路 7 2 に対して適宜出力する。

#### 【0038】

副制御回路 7 2 では、主制御回路 7 1 からの制御指令に基づいて透明液晶ディスプレイ 3 の表示制御及びスピーカ 4 からの音の出力制御を行う。すなわち、画像制御回路 8 1 の画像制御 CPU 8 2 において、サブマイクロコンピュータ 7 3 で設定されたパラメータに基づき、画像制御プログラム ROM 8 4 内に格納する画像制御プログラムに従って透明液晶ディスプレイ 3 での表示内容を決定し、画像制御 IC 8 8 において、画像制御 CPU 8 2 で決定された表示内容に応じた画像データを形成し、透明液晶ディスプレイ 3 に出力する。

#### 【0039】

透明液晶ディスプレイ 3 では、画像制御 CPU 8 2 で形成された画像データに従って、走査信号ドライバ 1 1 によりゲート線 G1、G2、…が順次に走査選択されてゲート電圧が供給され、このゲート線の走査選択に同期して、情報信号ドライバ 1 0 により一画素当たりの情報信号電圧を、一对の画素ユニットそれぞれに含まれる同一色の各画素電極 (Ra, Rb)、(Ga, Gb)、(Ba, Bb) に対し同レベルで印加する。この結果、遊技面 2 では、リール表示窓 3 a から視認されるリールの図柄にオーバーラップされるように、画像が表示されることとなる。

#### 【0040】

(作用・効果)

以上説明した本実施形態に係る表示装置 3 及びスロットマシン 1 によれば、隣

接する一つの画素ユニット a 及び b にそれぞれ含まれる同一色の画素電極 Ra、Ga、Ba、Rb、Gb、Bb に、一画素当たりの情報信号を供給するため、一画素を一对の画素電極 (Ra, Rb)、(Ga, Gb)、(Ba, Bb) で表示することが可能となる。

#### 【0041】

特に、本実施形態では、情報信号線 DR、DG、DB…により、情報信号ドライバ 10 からの一画素当たりの出力と、一对の画素ユニット a 及び b のそれぞれに含まれる同一色の画素電極 (Ra, Rb)、(Ga, Gb)、(Ba, Bb) とを一对多の関係で接続するため、既存の情報信号ドライバ等の駆動制御手段に大幅な改良を要することなく、且つ、既存の画像データのデータ量を増大させることなく、画素ユニットのピッチ P を従来のほぼ  $1/2$  とすることが可能となり、画素の精細化を図ることができる。

#### 【0042】

また、本実施形態に係る表示装置 3 及びスロットマシン 1 によれば、画素電極 Ra、Ga、Ba、Rb、Gb、Bb は、x y 平面上にストライプ状に配置されているため、画素電極を他の配列形態、例えばデルタ配列やモザイク配列とした場合と比較して、斜め線を表示した際の画像の滲みを低減することができ、画像の品質を向上させることが可能となる。

#### 【0043】

また、本実施形態に係るスロットマシン 1 では、表示装置を、遊技面 2 に貼設された高透過性の透明液晶ディスプレイ 3 としたため、リール表示窓 3a から視認される本体内に設けられたリールの図柄、及び遊技面 2 上に、画像をオーバーラップさせて表示することが可能となり、より効果的に表現力の向上を図ることができる。

#### 【0044】

##### [第2実施形態]

次いで、本発明の第2実施形態について説明する。本実施形態では、上述した第1実施形態で説明した表示装置において、駆動制御手段である情報信号ドライバ 10 からの一画素当たりの出力と、一对の前記画素ユニット a、b に含まれる



各画素電極 Ra、Ga、Ba、Rb、Gb、Bbとが、一対一の関係で接続されていることを特徴とする。

#### 【0045】

詳述すると、本実施形態に係る表示装置では、上述した第1実施形態と同様に、表示画面は、画素電極 Ra、Ga、Baを隣接配置することにより画素ユニット aを形成し、画素電極 Rb、Gb、Bbを隣接配置することにより画素ユニット bを形成し、これら隣接する画素ユニット a及びbにより一つの画素データを表示する（図1参照）。

#### 【0046】

この表示画面の具体的な構成を図7に示す。同図に示すように、液晶パネル基板上において、図面上水平方向に配線され、走査信号ドライバ11に接続されたゲート線 G1、G2、…と、図面上縦方向に配線され、駆動制御手段である情報信号ドライバ10に接続された情報信号線（ソース線）DRa、DGa、DBa、DRb、DGb、DBb…が互いに絶縁された状態で直交するように設けられており、その各交点において、アクティブ素子（スイッチング素子）である薄膜トランジスタ（TFT）を介して、画素電極に接続されている。すなわち、ゲート線 G1、G2、…は、TFTのゲート電極に接続され、情報信号線 DRa、DGa、…は、TFTのソース電極に接続され、画素電極は、TFTのドレイン電極に接続されている。

#### 【0047】

そして、かかる構成において、走査信号ドライバ11によりゲート線 G1、G2、…が順次に走査選択されてゲート電圧が供給され、このゲート線の走査選択に同期して情報信号ドライバ10から各画素データに応じた情報信号電圧が、情報信号線 DRa、DGa、DBa…に供給され、TFTを介して各画素電極に印加される。このとき、一画素当たりの情報信号電圧が、画素ユニットそれぞれに含まれる同一色の画素電極に同レベルで供給される。

#### 【0048】

以上説明した本実施形態に係る表示装置3及びスロットマシン1によれば、隣接する一つの画素ユニット a及びbにそれぞれ含まれる同一色の画素電極 Ra、

Ga、Ba、Rb、Gb、Bbに、一画素当たりの情報信号を供給するため、一画素を一对の画素電極（Ra、Rb）、（Ga、Gb）、（Ba、Bb）で表示することが可能となる。この結果、本実施形態に係る表示装置3及びスロットマシン1によれば、既存の画像データのデータ量を増大させることなく、図1に示すように、画素ユニットのピッチPを従来の1/2とすることが可能となり、画素の精細化を図ることができる。

#### 【0049】

また、本実施形態に係る表示装置3及びスロットマシン1によれば、画素電極Ra、Ga、Ba、Rb、Gb、Bbは、x y平面上にストライプ状に配置されるため、画素電極を他の配列形態、例えばデルタ配列やモザイク配列とした場合と比較して、斜め線を表示した際の画像の滲みを低減することができ、画像の品質を向上させることが可能となる。

#### 【0050】

##### [第3実施形態]

次いで、本発明の第3実施形態について説明する。本実施形態では、上述した第1実施形態及び第2実施形態で説明した画素ユニットa、bのピッチP（mm）と、当該スロットマシン1から通常遊技姿勢における遊技者までの距離d（mm）とが、

$$P < \tan(\pi/180/35) \times d \cdots (1)$$

の関係を満たすことを特徴とする。

#### 【0051】

これについて図8を用いて、詳述する。図8は、遊技者の画素に対する感度を縦軸にとり、遊技者の視野角1度当たりの画素線の本数（本/deg）（以下、「ストライプ本数」とする。）を横軸に対数表示したグラフ図である。なお、このストライプ本数は、1画素線毎に白色と任意の有色（例えば白色と黒色、白色と青色、白色と赤色など）とを交互にストライプ状に表示した場合の、有色（黒色、青色、赤色）の画素線の本数を意味する。

#### 【0052】

同図に示すように、画素線が青や赤であるときは、ストライプ本数が5～8.

5 程度で感度が急激に低下し、画素線が目立ちにくくなり、画素線が黒であるときは、ストライプ本数が 35 になるまで感度が上昇し画素線が目立つようになり、ストライプ本数が 35 となったときをピークに、その後急激に感度が低下する。

### 【0053】

本実施形態では、この特性を反映させて、画素線のストライプ本数が 35 (本/deg) を超えるように、すなわち、画素ユニットのピッチ  $P$  が所定の値よりも小さくなるように、上記式 (1) の関係に従って設定する。ここで、通常遊技姿勢における表示装置から遊技者までの距離  $d$  は、遊技機の種類によって異なるが、その想定値は、パチンコ機で 300 mm ~ 400 mm であり、スロットマシンで 400 mm ~ 500 mm としている。この想定値と、上記  $P$  の値との関係を、表 1 に示す。

### 【0054】

【表 1】

ストライプ本数 [本/deg]	tan	距離 $d$ [mm]					
		150	200	300	400	500	800
10	0.001745	0.262	0.349	0.524	0.698	0.873	1.396
20	0.000873	0.131	0.175	0.262	0.349	0.436	0.698
30	0.000582	0.087	0.116	0.175	0.233	0.291	0.465
35	0.000499	0.075	0.100	0.150	0.199	0.249	0.399
40	0.000436	0.065	0.087	0.131	0.175	0.218	0.349
45	0.000388	0.058	0.078	0.116	0.155	0.194	0.310
50	0.000349	0.052	0.070	0.105	0.140	0.175	0.279

表内の数値は、tan と距離  $d$  から求められるピッチ  $P$  [mm] の値

なお、表 1 において、点線で囲んだ範囲が、上述した画素線のストライプ本数が 35 に対応する  $P$  の値である。上記式 (1) を満たす値は、表 1 におけるハッチング箇所下方の範囲、すなわち、ストライプ本数が 40 以上となる範囲である。

### 【0055】

このような本実施形態に係る表示装置及び遊技機によれば、遊技者の通常遊技姿勢を考慮して、画素ユニットのピッチを設定し、表示装置における画素線を目立ち難くすることができ、好適な画像表示を実現することができる。

### 【0056】

なお、この実施形態では、画素ユニット a、b のピッチ P の値が、上記式 (1) を満たすように設定したが、補正值  $\alpha$  を、 $\pm 0.1 \sim 0.2$  とし、画素ユニットのピッチ P (mm) と、距離 d (mm) とが、

$$P = \tan(\pi/180/35) \times d/2 \times (1 + \alpha) \cdots (2)$$

の関係を満たすように上記 P の値を設定してもよい。

#### 【0057】

これについて詳述すると、通常使用状態における距離 d は、上述したように、300mm～500mmであるが、遊技者の遊技姿勢は、遊技者により、或いは遊技状況により変化し、想定距離 d の約  $1/2$  まで遊技機に接近することが考えられる。従って、遊技機に接近した場合、画素が目立つようになるため、本変更例では、上式 (2) のように、想定距離 d を  $1/2$  とする。

#### 【0058】

また、ストライプ本数を 35 を超えるように設定すれば、画素線が目立たなくなるが、必要以上にピッチ P の値を小さくしても、ある程度以下になると人間の眼では視認できなくなるため、必要以上にストライプ本数を多くするのは、製造コスト等からみても妥当ではなく、また、開口率が低減するという問題も生じる。さらには、図 8 に示すように、ストライプ本数が 35 本以下であっても、青や赤の画素線のピーク値 (約 5～8) 以上であれば、画素線は目立たない。従って、本変更例では、補正值  $\alpha$  を用いることにより、ストライプ本数が図 8 中のハッチングで示す範囲となるようにする。

#### 【0059】

このような変更例に係る表示装置及び遊技機によれば、遊技者の遊技姿勢の変化を考慮しつつ、画素線の目立ちを低減させることができるとともに、画素を必要以上に精細化することによる、液晶駆動素子の開口率が低くなるのを回避し、画面が暗くなり見づらくなるという問題をも低減することができる。

#### 【0060】

#### 【発明の効果】

以上説明したように、本発明の画像表示装置及び遊技機によれば、遊技機に備えられる表示装置において、画像データを増大させることなく、表示装置の画素

を精細化し、画素線を目立ちにくくすることができる。すなわち、隣接する一対の画素ユニットにより一画素を構成し、一画素当たりの情報信号を、一対の画素ユニットそれぞれに含まれる同一色の画素電極に供給することによって、従来通りの画像データ量で、画素のピッチを約  $1/2$  まで精細化することが可能となる。

#### 【図面の簡単な説明】

##### 【図 1】

第 1 実施形態に係る表示装置の表示画面を模式的に示す説明図である。

##### 【図 2】

第 1 実施形態に係る表示装置の内部構成を示す構成図である。

##### 【図 3】

第 1 実施形態に係る表示装置における情報信号電圧の印加タイミングを示すタイミングチャートである。

##### 【図 4】

第 1 実施形態に係る画素ユニットの配置形態の変更例を示す模式図である。

##### 【図 5】

第 1 実施形態に係るスロットマシンの外観を示す斜視図である。

##### 【図 6】

第 1 実施形態に係るスロットマシン内部に備えられた制御部の構成を示すブロック図である。

##### 【図 7】

第 2 実施形態に係る表示装置の構成を示す構成図である。

##### 【図 8】

第 3 実施形態において、遊技者の画素に対する感度を縦軸にとり、遊技者の視野角 1 度当たりの画素線の本数 (本/deg) を横軸に対数表示したグラフ図である。

#### 【符号の説明】

$\alpha$  …補正值

R, B, G …画素電極

DB, DG, DR…情報信号線

G 1 ~ G 3 …ゲート線

P…画素ユニットのピッチ

a, b…画素ユニット

d…想定距離

1…スロットマシン

1 a…メダル受け皿

2…遊技面

3…透明液晶ディスプレイ

3 a…リール表示窓

4…スピーカ

5…ランプ

6…操作スイッチ部

7…制御部

1 0…情報信号ドライバ

1 1…走査信号ドライバ

7 1…主制御回路、

7 2…副制御回路

7 3…サブマイクロコンピュータ

7 4…サブCPU

7 5…プログラムROM

7 6…ワークRAM

7 7…INポート

7 8…音源IC

7 9…パワーアンプ

8 0…OUTポート

8 1…画像制御回路

8 2…画像制御CPU

8 3…画像制御ワークRAM

8 4 …画像制御プログラム R O M

8 5 … I N ポート

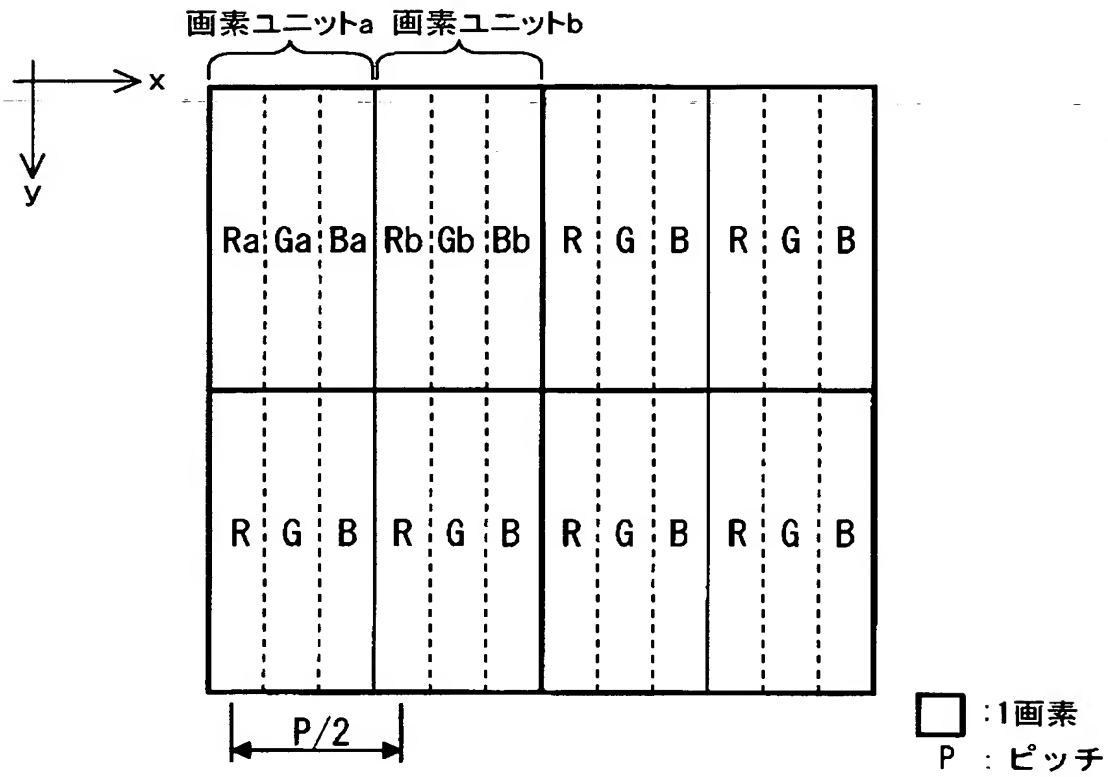
8 6 …画像 R O M

8 7 …ビデオ R A M

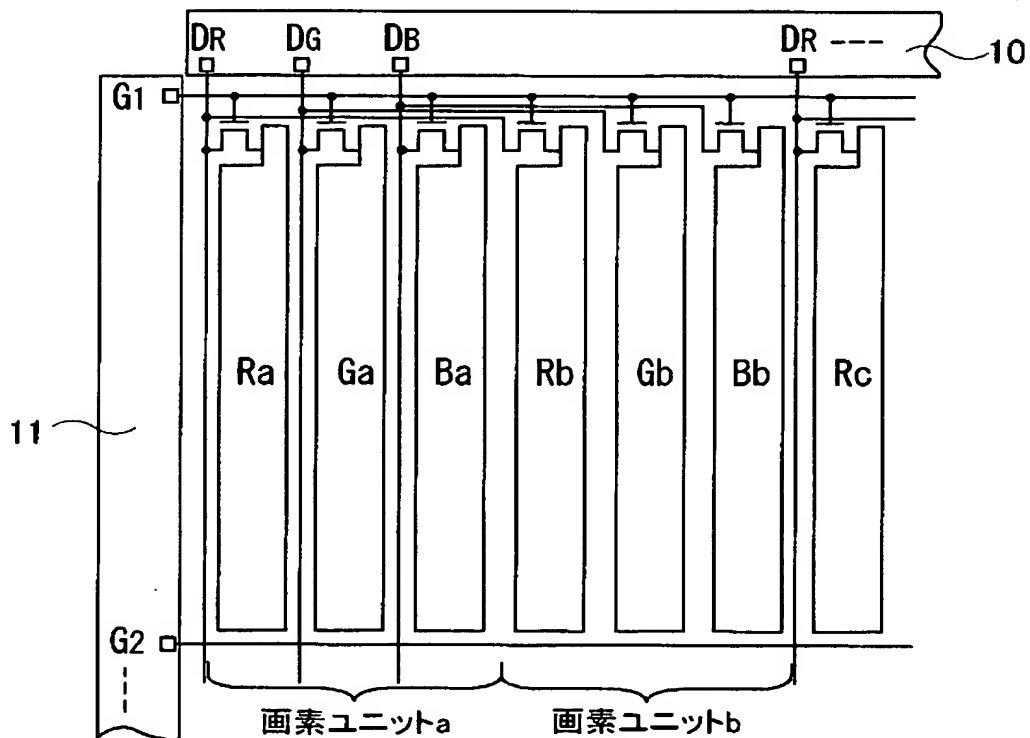
8 8 …画像制御 I C

【書類名】 図面

【図 1】

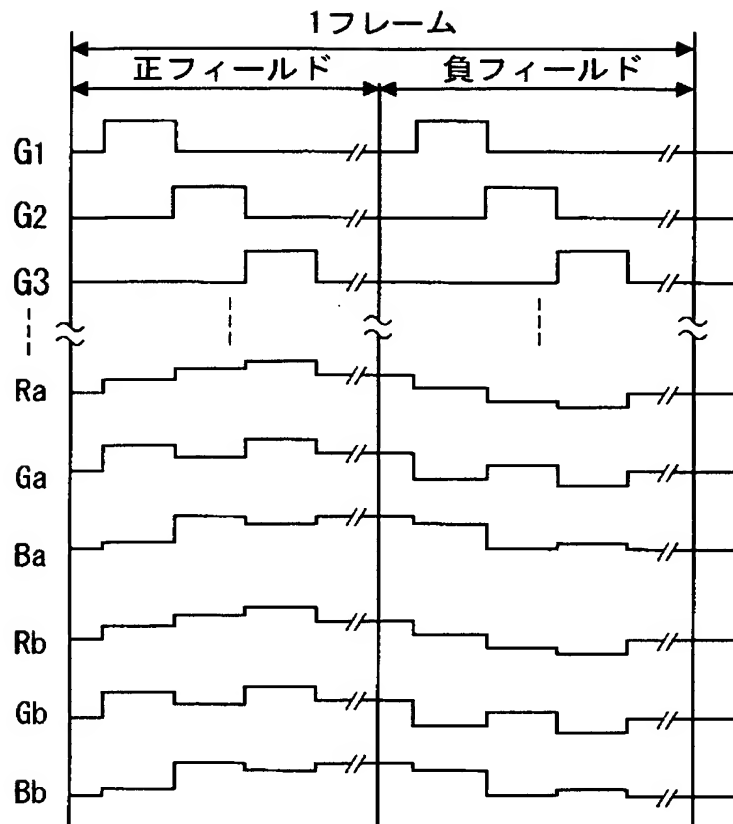


【図 2】





【図 3】



【図 4】

(a)

G	B	R	G	B
B	R	G	B	R
R	G	B	R	G
G	B	R	G	B
B	R	G	B	R

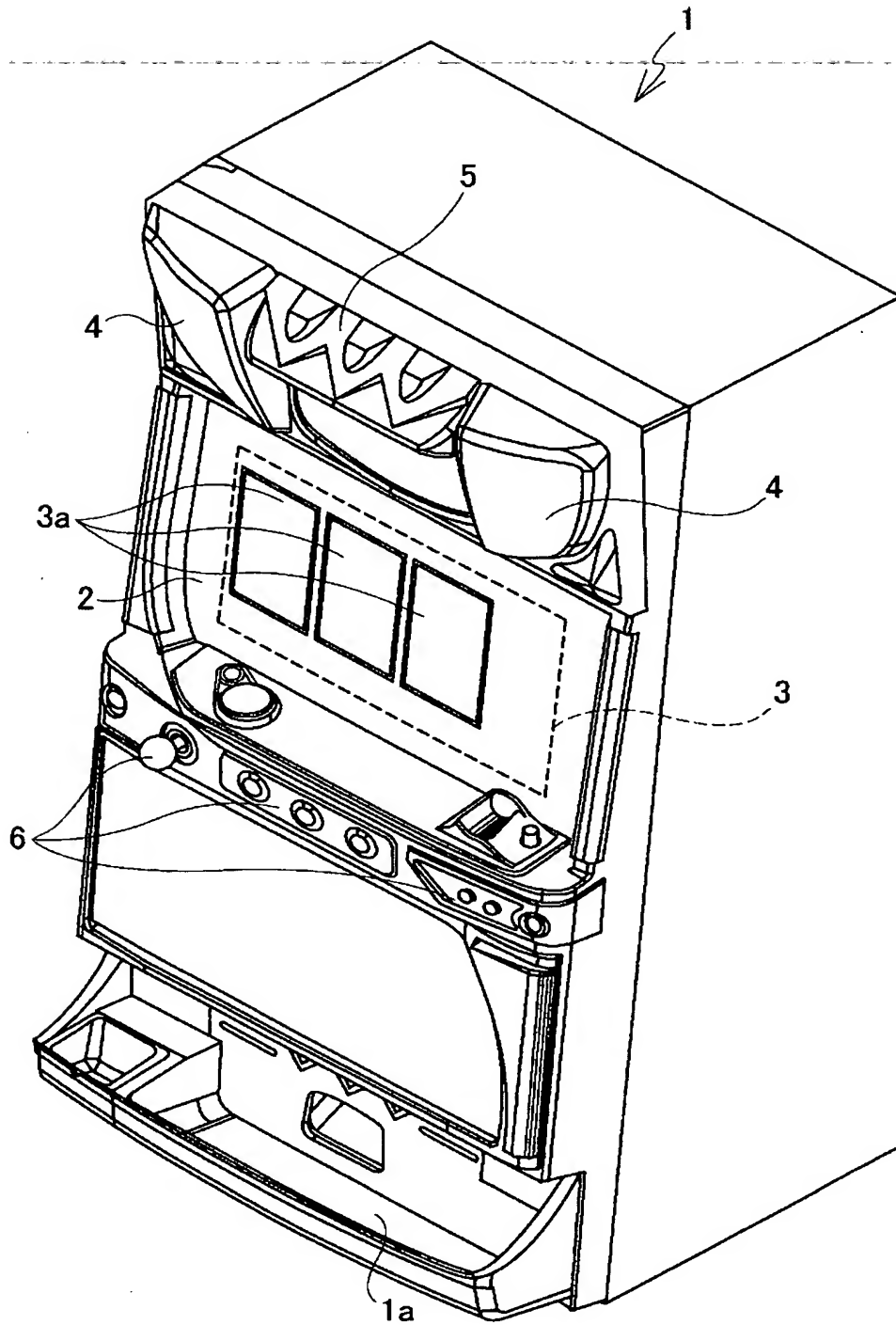
(b)

	G	B	R	G	
B	R	G	B	R	
	G	B	R	G	
B	R	G	B	R	
	G	B	R	G	

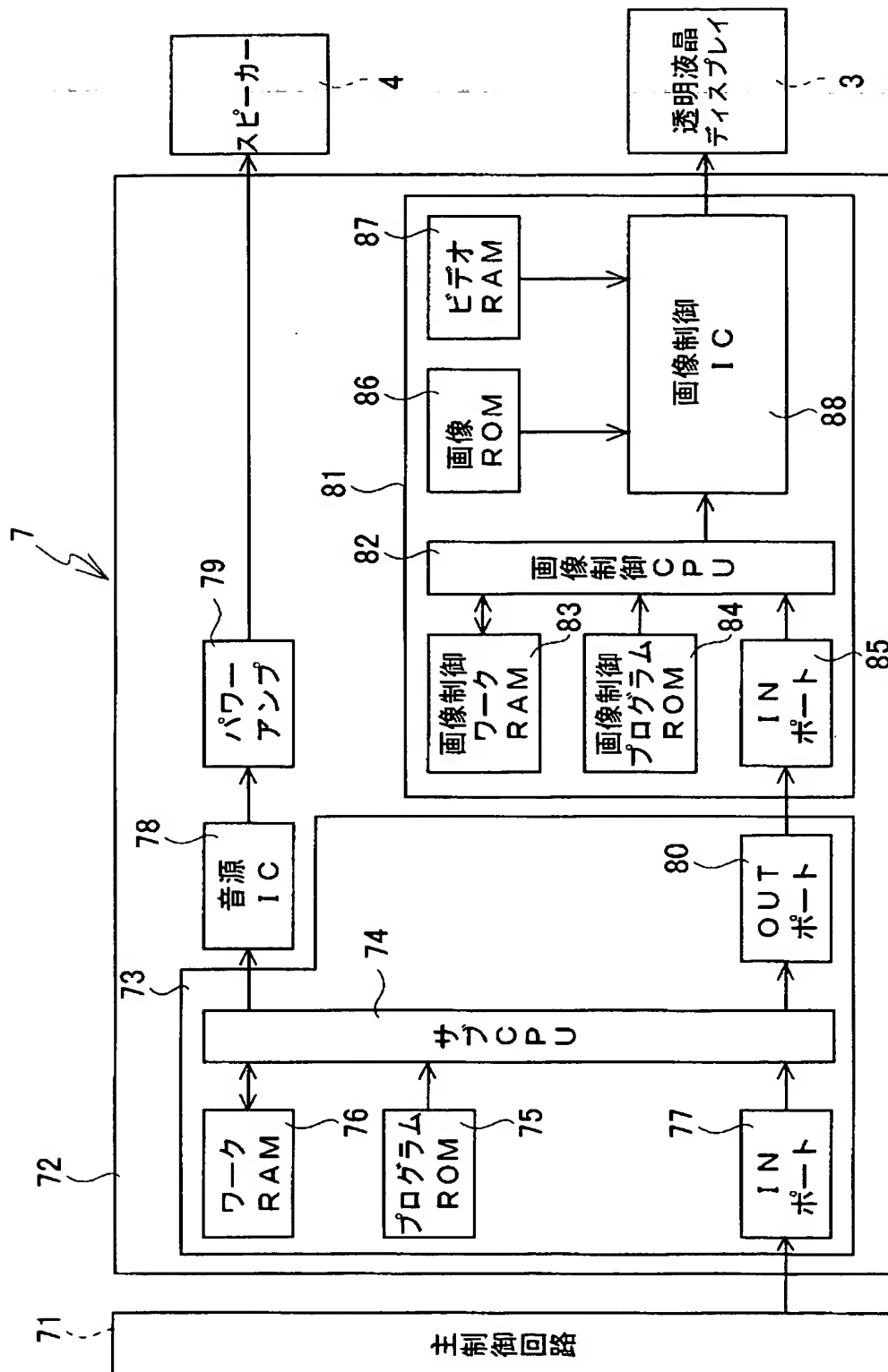
(c)

G	R	G	B	G
B	G	R	G	B
G	B	G	R	G
R	G	B	G	R
G	R	G	B	G

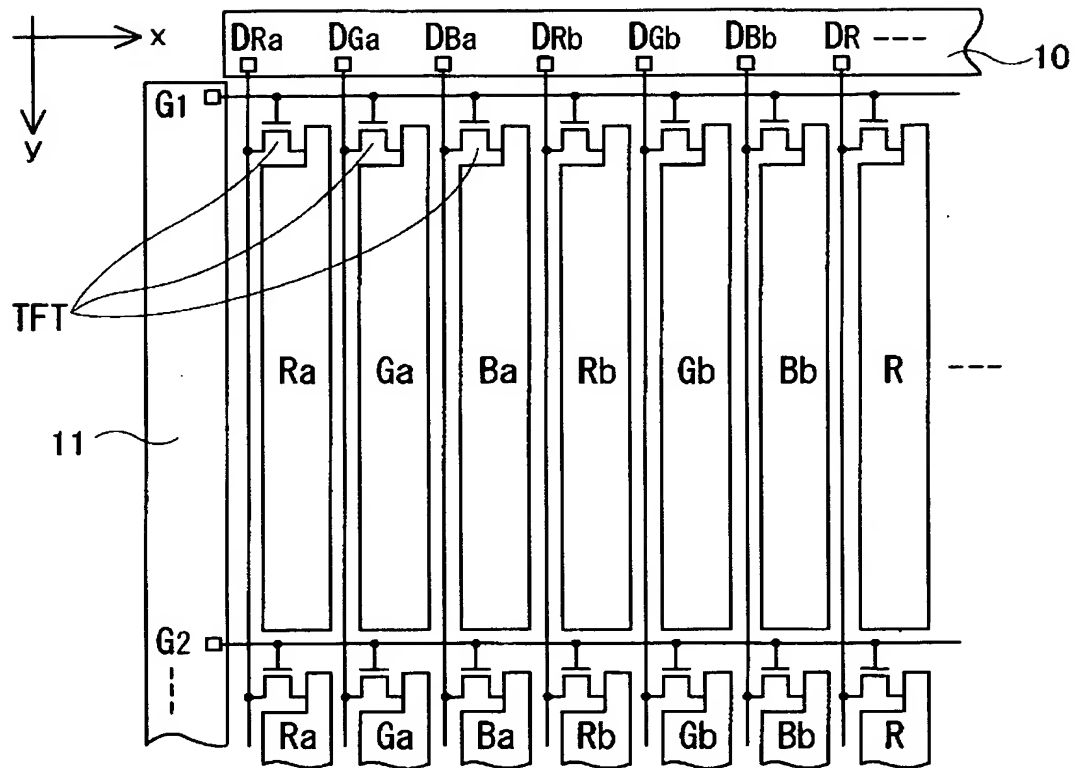
【図 5】



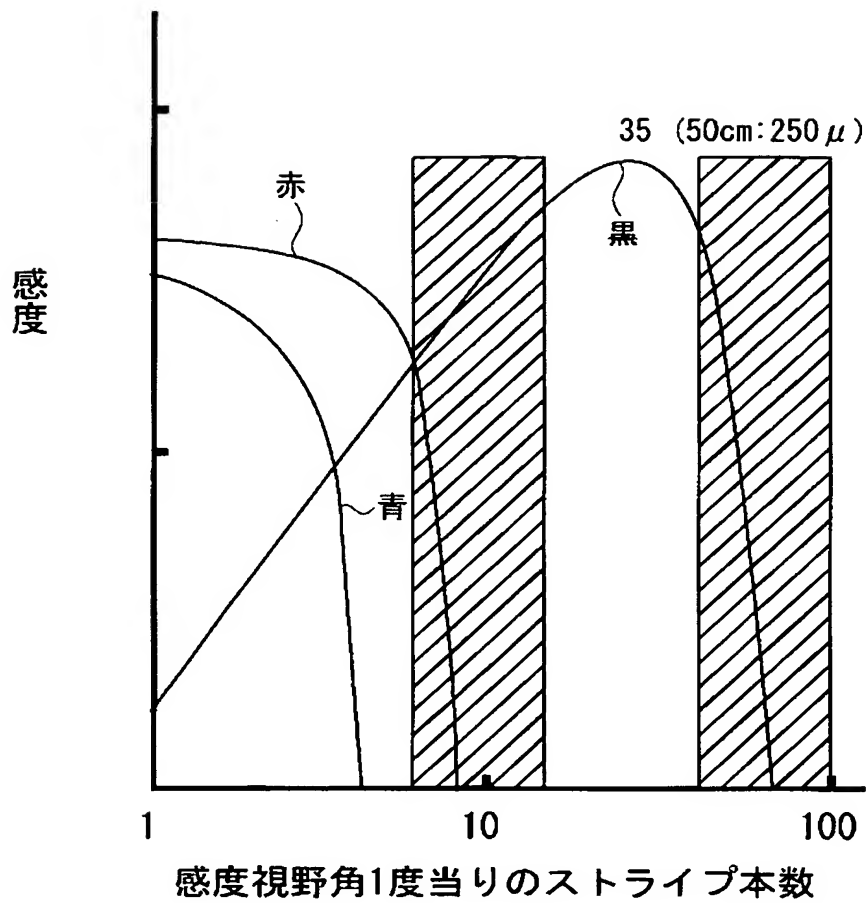
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 遊技機に備えられる表示装置において、画像データを増大させることなく、表示装置の画素を精細化し、画質の向上を図ることができる。

【解決手段】 所定の色をそれぞれ表示する複数種の画素電極 (Ra, Rb)、(Ga, Gb)、(Ba, Bb) を各種一つずつ配列して形成される画素ユニット a 及び b と、画素電極に供給される情報信号を制御する情報信号ドライバ 10 と、情報信号ドライバ 10 からの一画素当たりの出力と、一对の画素ユニット a、b それぞれに含まれる同一色の画素電極 (Ra, Rb)、(Ga, Gb)、(Ba, Bb) とを一对多の関係で接続する情報信号線 DB, DG, DR とを備え、情報信号ドライバ 10 は、一画素当たりの情報信号を、一对の画素ユニットそれぞれに含まれる同一色の画素電極 (Ra, Rb)、(Ga, Gb)、(Ba, Bb) に供給する。

【選択図】 図 2

特願 2 0 0 3 - 0 9 2 5 2 9

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [ 5 9 8 0 9 8 5 2 6 ]

1. 変更年月日	1 9 9 8 年 7 月 2 3 日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都江東区有明 3 丁目 1 番地 2 5
氏 名	アルゼ株式会社